

☆放課後子ども教室☆

楽しい時間はあっという間に過ぎるもの。夏休みも終わり、長い2学期が始まります。夏らしい暑さが続いた8月でしたが、見上げる空には秋の気配も感じる今日この頃です。大きな事故やケガがないよう、2学期の活動も進めていきたいと思ひます。

夏休み中、通常の活動はお休みとなっていました。2プログラム3日間の夏休み特別教室を行いました。今年が発達段階に合わせ、低学年(1~3年生)は自然体験活動を、高学年(4~6年生)は地域密着型職業体験のプログラムをそれぞれに実施しました。

高学年の活動では、今年もともいきの里夏祭り会場にて、子どもたちが自分の手でつくるお店『あつまっ子カフェ』の開店を目指し、7月27日(水)と28日(木)の2日間にわたり奮闘しました。3年目となった本プログラム。これまでの活動を踏まえ、今年には販売する商品に自分たちで値段をつけるという活動にチャレンジです。1日目には、お店の開き方基礎講座を受け、商品の値段を考えるプログラムを行いました。値段=商品の価値。原価を考慮し、商売のプロである商工会青年部員の方にアドバイスをもらいます。お店を運営する側の視点だけでなく、お客さん目線も取り入れようと市場調査にも出かけました。本番当時は朝からあいにくの空模様でしたが、商品の仕入れから会場設営、看板や宣伝媒体(商品知らせるポップなど)の作成と準備を進めます。今年、用意した商品は稲菓さんでつくっていただいた米粉パンを使ったホットドック、あんパンや豆パンなど米粉パン各種、土居ハスカップ農園さん特製のハスカップシロップでつくるハスカップソーダです。足元の悪い中、オープンと同時にたくさんのお客さんにご来店いただきました。子どもたちも大きな声で「いらっしゃいませー!」と呼び込みをしたり、接客をしたり、一生懸命に頑張りました。商品は無事、完売となり、子どもたちもやりきったという達成感を味わっていたようです。こうした活動ができるのも、地域で子どもを育てるといふ意識と環境があるからにほかなりません。ご協力をいただいたすべての皆様に改めてお礼を申し上げます。



今年も大成功☆ありがとうございました!

8月に入り1週目の土曜日、低学年チームは川遊びプログラムに出発です。おとなりのむかわ町穂別にある河原へ出かけました。本格的な川遊びは初めてという子どもたち。外気温に比べると水温は低く、プールと違って流れもあります。それでもボート遊びや魚とりなど、色々な遊びを組み合わせ、寒さと自分の体力をコントロールしながら、たくましく遊んでいる姿が印象的でした。普段はとても澄んだ水面の鵜川ですが、この日は先日の大雨の影響でまだ少し濁りが残っている状況だったのが残念です。また今度、優しい青色をした鵜川に会いに行きたいと思ひます。

